

事業者向け 児童発達支援自己評価表(公表)
 子どもデイサービス サニー
 事業所番号 2750620375

公表日 R6年2月1日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9				国の設備基準である基準の広さを用意しております。
	2	職員の配置数は適切であるか	9				児童10人に対し指導員2人という国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っております。保育士など児童分野での経験と専門性を備えたスタッフの配置に努めております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9				児童がわかりやすい配置、掲示物を減らす、活動時には玩具を片づけるなど工夫しています。事業所全体がワンフロア一段差のない構造となっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9				毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気を付けています。常時空気清浄機を稼働し、冬場は加湿器を設置しています。活動スペースは1か所ですが、多目的に使用できるようになっています。感染症予防のため、次亜塩素酸水で除菌清掃し、換気の徹底などに努めています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			1	PDCAサイクルを心がけ、ミーティングに置いて現状の把握、課題の抽出業務の見直しを図っています。出勤日数の少ない職員にも広く参画してもらえるよう工夫し足りPDCAサイクルについての説明を早急に周知して参ります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			1	毎年2月と8月の2回実施し、業務の改善につなげています。出勤日数の少ない職員へも評価表の実施と、意向を把握させて頂いている事。また、それを業務改善につなげていることが解るよう努めて参ります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			2	ホームページで公開していることやご確認いただけるよう周知していましたが、至らない点があった為、早急に公開箇所を改めて職員に周知いたします。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1		2	第3者評価機関の設置や依頼はしていませんが、今後依頼などを検討しています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9				外部研修に参加したり、内部研修を行い、支援の質を高めるよう努めています。職員それぞれの専門性の研鑽を奨励しています。
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9				利用に際しての見学・体験時に保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。外部でとった発達検査の結果等でも発達状況を把握し、支援計画に活かしています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9				他機関で心理検査やアセスメントなどもご共有頂き支援の参考とさせて頂いています。当事業所指定のアセスメントシートを使用し、全体の把握に努めています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9				ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則した支援内容を個別支援計画に表記しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9				個別支援計画に沿って支援をしています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9				職員全体で相談し、立案しています。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など	
支援の提供	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9				固定化されないよう様々なテーマで設定しています。また、内容は発達に応じて変化させています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8			1	児童の状況に応じ個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しています。パート職員へも理解度を確認しながら見方などを共有して参ります。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9				朝礼にて打ち合わせを行いその日ご利用の児童様の特性や近々の情報などを踏まえて職員間で当日の活動の内容の他、配置や役割について確認しています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8				その日にしたいができない日もあります。そんな時には業務連絡用のツールを使用し、業務の連携に繋げています。必ず翌日には再度共有し、認識の違いがないよう努めています。引き続き行って参ります。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9				利用者の様子や支援の振り返りを行い、記録しています。それらを次のステップアップや改善につなげています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9				概ね6カ月に1度、見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9				開催される場合には、児童発達支援管理責任者や管理者、担当者など、適任者を選び出席しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9				保健相談所で療育の必要性のあるお子さんの紹介に応じたり、幼稚園、保育所との連携を図っております。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					現在は医療的なケアが必要なお子さまや重症心身障害のある子どもさまのご利用はありません。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					現在は医療的なケアが必要なお子さまや重症心身障害のある子どもさまのご利用はありません。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9				移行先や保護者の要望に応じて情報提供を行っています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8				情報の共有と総合理解に努めています。デイからの情報は必要ないと言われる学校もあります。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8			1	児童発達支援センター主催の研修に参加しています。非常勤職員も参加ができるよう工夫して参ります。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7		1		1	コロナ禍が空けた現在でも、園などへ訪問する機会はなくなっていますが、地域のお友だちが行く公園などを利用し、障がいの無い児童と関わる機会を設けています。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7			1	1	自立支援協議会への参加はしていません。また、地域の会や連絡協議会なども問合せをしましたが、現在活動をしていないと伺い入会できていません。通っている児童の市の連絡会などへ積極的に参加ができるよう努めます。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		1			ご家族の方と日頃から保護者さまの使用しやすいツールを利用し、状況を伝え合い、共通理解が持てるよう努めています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8			1	ペアレントとトレーニングの実施はありませんでしたが、来年度受講の実施を検討しています。 面談や送迎時のフィードバックの際、対応などのアドバイスを伝えられるように心がけています。職員もペアレントトレーニングの知識を習得できるように研修の機会を設ける等進めて参ります。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			1	契約時に説明をさせて頂いています。職員への周知も行っておりましたが、この項目がどの書類に該当するものなのか解らないままにならないよう周知に努めます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8			1	契約時に行っています。また、個別支援計画についても職員への周知も行っておりましたが、この項目がどの書類に該当するものなのか解らないままにならないよう周知に努めます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			1	希望に応じて相談を受け付けています。また、定期的なモニタリング時に相談の時間を設けています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	7		1	茶話会の開催を年間計画でも実施予定となっておりますが、今年度も感染症流行などにより開催を見送りました。今年度は開催に向けて検討しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9				相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1			毎月お便りを発行しています。Instagramにて毎週一週間の様子を投稿しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9				個人情報が記載された書類は鍵付きの棚に保管しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9				言葉と共にサインを使用する又は支援カードを使用するなど伝達方法を工夫しています。その日の活動内容をホワイトボードに記載し表示しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1		2	現在は、実施できていません。開催していただける先へ事業所として参加させて頂くことの方が殆どとなっております。今後、夏の流しそうめんや夏祭りなどに地域の方に参加して頂けるよう自治会の回覧板などに参加お知らせなどをお願いできればと思っています。
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9				訓練を定期的実施しています。マニュアルに応じても必要に応じて見直しています。契約時に保護者さまへの説明を行っていますが、十分でない部分もありますので改善に努めます。	
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9				定期的に訓練を実施しています。今後、保護者さまへの引き渡しなどへの参加なども検討しています。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9				保護者からの聞き取りなどにより把握しています。また必要に応じて聞き取りを行っています。 児童の健康上の配慮点や注意点について、職員一人ひとりが意識できるように定期的な確認と周知を行っています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8			1	契約時にアレルギーの有無を確認しています。 現在該当する児童はおらず、食事の提供もありませんが、活動(小麦ねんど等)又は、おやつの際に必要なに応じて服薬・投薬・緊急搬送先などの取り決めを保護者と行い、医師にも確認してもらえるよう体制をつくっています。 わからない職員へは早急に周知に努めます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9				事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9				外部の研修に職員が参加したり、職員ミーティングにて共有し、社内研修時にも事例としてあげて
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8			1	身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すことになっています。また、保護者にはそれらを契約書に記載し説明しています。 対象児童がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載する体制があります。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。